



おかもとくにひろ
岡本邦広さん
福井県立嶺南西養護学校教諭

福井県出身。平成8(1996)年、信州大学理学部を卒業し、福井県公立中学校の教員に。平成23(2011)年、大学院修士課程心身障害コースを修了し、今年度は福井県立嶺南西養護学校に勤務している。



かなざわひろよし
金澤浩良さん
姫路市立香呂南小学校教頭

姫路市出身。昭和57(1982)年、学校教育学部自然系コースの1期生として入学。卒業後は姫路市立小学校の教員に。平成23(2011)年度から香呂南小学校の教頭に就き、慣れない仕事に奮闘中。

→昨秋の体育大会では選抜対抗リレーに出場しました



日頃から子どもの成長に対し 探究心を持つことが大切です

大 学院では井澤信三准教授の研究室で、応用行動分析学を基にした支援方法について研究しました。障害のある子どもがなぜ問題行動を起こすのか、どのような方法を用いれば適切な行動が増えるかといったことを実際のケースや研究論文などから学びました。

過日、ある生徒との3年間の授業を検討した内容の論文で、第20回日本LD学会実践奨励賞を頂きました。この論文は大学院に入る前からまとめていたものです。

確かに、大学院では多くの研究論文が手に入り、先行の研究とも比較できたことで内容に深みが出ましたが、学校現場にいても論文を書くことはできません。日頃の実践から、子どもとの関わりの中で成長が見られたとき、一体何がそれに関与したのかと科学的に分析する姿勢を常に持ち続けることが重要だと思っています。

今後一人でも多くの人に貢献できる教育者を目指して、研さんを深めていきたいです。

→週3時間の1年生との体育の学習が楽しみです



なでしこジャパンの活躍から 教頭職のヒントを得ました

小 学校教員になって四半世紀。今年度から教頭職を拝命し、仕事の内容は「学級経営」から「学校経営」へと一変しました。

初めての仕事に多くのジレンマを感じながら、1学期が終わろうとしていた昨年7月18日。なでしこジャパンがワールドカップで優勝しました。その数週間前、佐々木則夫監督の著書「なでしこ力さあ、一緒に世界一になろう!」を読んでいただけに感激もひとしお。再度熟読す

ると、なでしこジャパンのチームマネジメントと学校組織のマネジメントには共通点が多いことに気付きました。例えば、チームを大局的に見ると同時に、横からの目線で各選手を見ることも必要というのは、教職員のリーダーとして参考になりました。

なでしこジャパンの活躍は、教頭職としての知見を深めさせてくれました。先日、校長からうれしい一言を頂きました。「教頭先生、自分らしさが出てきましたね」と。

▶ 同窓会・都道府県連携推進本部からのお知らせ

大学教員と大学院同窓会員との共同研究の申請

大学院修了生が大学教員と共同で取り組む研究の中から、特に学校現場の課題解決や大学の実践的な教育研究の進展に役立つものを選び、研究経費の一部を補助します。

◎申請締め切り 4月30日(月)迄まで

応募方法など詳細はHyokyo-netをご覧ください

教育実践研究活動等に係る表彰者の推薦

大学院同窓会では教育実践活動に顕著な成果を挙げ、大学や同窓会の名誉を高めた修了生を表彰しています。今年度も表彰にふさわしい修了生の推薦を受け付けています。今年7月の同窓会兵庫大会で表彰式を行い、学長・同窓会長連名の表彰状を授与します。

◎推薦締め切り 3月30日(金)まで